



ビックデータと流通生産管理と顧客管理、アフターサービス

令和6年8月27日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

これらは生産における原材料と部品生産、製品生産へ、品番とデータ管理を求め、完成品における流通と顧客販売におけるデータ管理を行う。これらデータの集積と管理は販売動向や需要、不良の特定など、より優れた製品管理とアフターケアの提案を実現できるのである。また不良原因の特定などにおける改善もの可能である。

これらデータ管理は市場動向や、顧客需要の分析を自動化して実現できるのである。これら分析と適時適切な製品投入など、ビックデータの管理と分析は生産と販売、流通における新しい現実とサービスの提案を実現できるのである。

これらは生産とITにおける新たなデータ管理システムの構築などにおいて、それらより優れた環境と自動化した企業環境への転換を実現できるのである。

電子タグ、ICチップ、バーコード、QRコードなどにおけるこれら作業員、日付、生産場所などの特定は、より優れた品質管理を構築できるものである。

これら全てのデータ管理と分析は自動化するものであり、新たな企業システムにおける企業経営は新たな企業の現実を与えるものである。

また小売において、製品管理と顧客の特定などにおけるデータ管理と分析は、適切な製品補樹や管理、販売環境を提供できるものである。

これらはデジタル化における新しい現実であり、企業経営におけるITシステムの構築がより重要に与えられることを意味するのである。

これらデータ分析は、企業経営における新たな指針であり、より効率的な企業経営への転換を実現するものである。

これらIT化とデジタル化という潮流は、その効率化と向上を与えるのであり、新たな企業経営環境における企業の創造性など相乗する新たな現実を付与するものである。